

令和4年度 第4回 井田川小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和4年12月7日（水）13：10～14：50

2 場 所 討議（多目的室），授業参観（体育館）

3 あいさつ（委員長，学校長より）

- ・ 委員長より これからPDC Aの評価に入っていく時期となるが，先生方には無理なされず，（取捨選択し，）捨てるものは捨てて，教育活動を行っていただきたい。
- ・ 学校長より 第8波やインフルエンザが流行する時期となった。教育活動については，スリム化・重点化を図っていきたい。

4 授業参観

人権集会（赤い羽根募金の贈呈式，放送委員会発表，人権学習で学んだことについての各学年の発表，人権フォーラムの還流報告）

5 協議内容

（1）人権集会について

- ・ 意見がしっかりしていて，思いを共有できた。いじめは悪いことという価値観を育てていく必要がある。
- ・ 1年生から6年生の人権学習の取組と白鳥中学校区の人権フォーラムの発表は，それぞれが相手の気持ちになって考えるものであった。そのためには，相手の気持ちを考える想像力が必要となる。歩み寄って考えることは，大人も含めて大切なことであると感じた。
- ・ 女性だから，男性だからだめといった考え方を学ぶのは，今の時代に合っていると思う。
- ・ 各学年で，1年生は「いいところ探し」2年生は「男女の好きな色について」，3年生は「不安なことについて」，4年生は「友達を大切にするにはどうしたらよいか」，5年生は「いじめをされた人の気持ち」，6年生は「女性のイメージ，男性のイメージ」について発表されたが，聞いていて楽しかった。進行していた児童会の児童もはきはきして聞いて，よかった。
- ・ 集会に臨む態度がざわざわせずによかった。せりふを言うのではなく，理解して発表されていた。話し方もゆっくり落ち着いていた。1年生も，ふらふらせず，きちんと発表できていてびっくりした。上級生になるにつれて，よい姿を見せていたが，その姿を目指していこうと下級生が思える内容であった。
- ・ 登校中に児童がふざけて押す態度を見かけることがあるが，どこからがいじめかを見極めが難しい。
- ・ 身近な問題を取り上げていたが，もう一つ言えば，これを実践する勇気を持つ

てほしい。

- ・白鳥中学校区の人権フォーラムで学んだことを実践して行ってほしい。
- ・日常生活の問題が取り上げられていたが、悩みを抱えているのは大人も同じである。解決に向けて話し合うことが大切である。
- ・男性だから、女性だからという問題も取り上げられていたが、どの発表も、その人の気持ちになって考えるという意味で一貫していた。1年生はあんなにしっかきしているのに驚いた。人の話をよく聞いていて、感心した。
- ・1年生の姿に驚かされた。全校の中では、きちんとわきまえられることが分かった。楽しい時間を過ごせた。ただ、マスクを着用しているせいか、口ごもっている学年があった。また、相手の気持ちを考え、わかりやすく伝えるという意味では、声のトーンもあるが、文章を早く言わないといけないと思っている児童がいて、残念であった。
- ・校長より
集会自体が初めてであり、今までは教室でのリモートであり、きちんと人の話を聞くことができるか心配であったが、低学年もがんばって聞くことができていた。これ（互いに刺激しあい、高めあう姿）が、学校のあるべき姿だと思った。

(2) 学校関係者評価について

- ・評価項目、指標、検証方法の説明と今後の日程の連絡を行った。ピンクシャツ運動とはどんなものかを確認する意見があった。

6 教育委員会より

- ・人権集会を見ていただいたが、今回児童の様子を見て委員の皆さんに話し合っただけ、意義深かった。課題も出されたが、委員のみなさんの意見をぜひ学校で共有していただきたい。「初めての集会で、なぜあんなにうまく発表できるのか」という意見が出されたが、日頃の授業の積み重ねだと思う。授業力向上についても、委員のみなさんには、思ったことを学校関係者評価に書いていただきたい。すると、先生方はもう一度とらえ直すことができる。そして、来年はこうしようと計画することができる。4月と11月にピンクシャツ運動等ではじめはしてはいけないことを学んだが、その取組が今日の人権集会につながった。系統だった取組となっている。